

◎ 部会推進の状況

	栄養生活部会	身体活動運動部会	休養こころの健康部会	タバコ・アルコール部会	歯の健康部会
18年度	・健康日21こまき計画推進部会を上げた。 ・行政関係機関が、市民の健康づくりに対する取り組みを支援するため、その方策の検討をスタートさせた。				
19年度	①「朝ごはんたべて能力アップ」リーフレット作成配布 小学5年生を対象として朝食を子どもが自分で作ることができるようなリーフレットを作成し学校等で配布。	①ウォーキングの有効性、効果の情報提供 平成8年度から11年度の4年間で保健連絡員が作成した「ウォーキングマップ」(16年度修正)を区画整理等の状況を修正して各月の15日号広報に特集として12回掲載。 ②若い世代の健康づくりの機会に提供 健康まつりの催事として「親子遊びで体力アップ」を実施。	①メンタルヘルスセミナーの開催 「振り向いてください、あなたの職場、あなたの家庭」と題して市内の事業所及び市民を対象に開催。	①アルコールについての情報提供 ホームページに掲載 ・アルコールによる影響 ・依存症についての相談機関 ・未成年、妊婦に及ぼす影響	①「8020歯っぴースマイル歯磨き教室」を開始 小学4年生を対象に希望校に対して実施(6校)＝以下毎年開催
20年度	①低栄養防止のための高齢者向けリーフレット作成配布 保健センター事業で配布	①ウォーキングの有効性、効果の情報提供 昨年各月の15日号広報に特集として12回掲載した内容をベースにウォーキングマップの冊子を作成。	①こころの相談窓口を整理して一覧表を作成	①意識啓発を兼ねた女性に対するアンケート作成 子どもにも多く影響すると思われる女性に対する情報提供。	①全保育園の年長児を対象にフッ化物洗口の開始 スムーズな実施に向けた研修会を開催 ②高齢者の口腔ケアについての知識の普及、意識の向上 デイサービスの職員を対象とした研修会を開催 ③ヤング健診時にサリバスターテスト(歯肉からの出血傾向を見るテスト)による意識啓発＝以下毎年実施
21年度	①メタボリックシンドロームに関する情報提供 『脱メタボのススメ』として各月の15日号広報に特集として12回掲載。	①20年度作成したウォーキングマップの配布、活用。	①「こころの相談窓口」パンフレットを製本し配布(基金) ②うつ自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催＝以下毎年開催(H22は実施未) ③メンタルヘルス講演会、シンポジウムの開催	①意識啓発を兼ねた女性に対するアンケート実施 乳がん子宮がん検診受診者および親子健康手帳交付時に実施	①「8020歯っぴースマイル歯磨き教室」の評価及び中学生へのアプローチを検討
22年度	・「産業フェスタ」の会場において意識啓発を開始				
	21年度広報掲載『脱メタボのススメ』をまとめ冊子として配布	ウォーキングマップの掲示、配布、ウォーキング指導、万歩計の貸し出し	ストレス測定 こころの相談窓口冊子配布	喫煙が及ぼすからだへの影響への情報提供(ポスターアンケート)	サリバスターテスト(歯肉からの出血傾向を見るテスト)による意識啓発
22年度	①親子健康手帳に「朝食の大切さ」について追加加筆し交付	①働く世代へのウォーキングの普及啓発 商工会議所会報誌「つつじ」への記事折込	①講演会開催 夜回り先生(水谷修先生)による「こころの授業」(基金)	①タバコ・アルコールについての情報提供 アンケート結果から認知度の低かった項目のチラシを作成親子健康手帳交付時に配布 ②「禁煙・分煙マップ」作成 作成に向けた食品衛生協会小牧市部の協力でアンケート調査を実施	①市内中学校での健康教育 『12歳白歯』に焦点を当てた事業目的の内容を中学校に周知 ②妊婦の歯科検診受診増加に向けた工夫 親子健康手帳交付時に「無料歯科健診受診券」として配布
23年度	・「産業フェスタ」の会場において意識啓発 ・健康福祉フェスティバルinこまきにおいて「けんこうこまき いきいきプランコーナー」開設				
	①子どもの肥満に対するアプローチ 小学5年生、中学1年生向けチラシの作成 ②高齢者の低栄養予防リーフレットのリニューアル H20年度作成リーフレット内容を見直す。「歯の健康部会」、「つつじ会」ともコラボ。	①ウォーキングマップの普及及びウォーキングの啓発 10月15日広報に掲載 ②乳幼児親子に対して情報提供 各児童館発行の「児童館だより」の2月号に掲載	①うつ自殺予防啓発 自動車に張ることができるマグネットを作成して啓発(巡回バス公用車に掲示)(基金) ②自己肯定感の醸成 こころのカレンダー作成し、事業主研修で配布(基金) ③うつ自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催 講師：関口純一精神科医(基金)	①「禁煙・分煙マップ」作成・掲載方法の検討	①市内中学校での健康教育 『12歳白歯』に焦点を当てた健康教育の実施(1校) ②小学校でのフッ化物洗口事業の推進に向けた働きかけ 指導主事・養護教諭を対象とした研修会の実施 ③「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防の取り組み 歯科医師会と医師会の連携＝医師会生涯教育研修会のテーマに取り上げ開催された
24年度	・「産業フェスタ」の会場において意識啓発 ・健康福祉フェスティバルinこまきにおいて「けんこうこまき いきいきプランコーナー」開設				
	①子どもの肥満に対するアプローチ 小学5年生、中学1年生向けチラシの配布、配布後の評価についての検討 →やせの体型の子どももいて健康課題と考えられることから、今後は『望ましい体格を知るためのリーフレット』として配布。 ②20～30歳代の男性の欠食に対するアプローチ方法やその内容検討 ③リーフレット配布やメジャーを利用した、BMIについての知識の普及啓発 子ども、学生家族などに会える機会に直接相談、指導。 ④高齢者の低栄養予防リーフレットの配布 高齢者配食サービス利用者、民生委員把握の一人暮らし高齢者(65歳以上)、寿学園等、保健センター健康教育利用高齢者に配布。	①幼児親子に対して情報提供 各児童館発行の「児童館だより」へ年3回の記事連載 ②ウォーキングの普及啓発に向けて ウォーキングマップの見直し。骨密度と運動の関係を調査するためのアンケート実施。	①うつ自殺予防啓発人材育成 民生児童委員・保健連絡員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座」3日間同日内容実施。合計220人参加。講師：定森露子臨床心理士(基金) ・市職員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座」実施。89名参加。講師：愛知医科大古井由美子臨床心理士(基金) ②うつ自殺予防啓発 うつ・自殺対策啓発ティッシュを青少年健全育成支援会議で配布。(基金) ③うつ自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催 講師：中村メンタルクリニック院長中村哲也精神科医(基金)	①「禁煙・分煙マップ」作成 商工会議所メールマガジン、市のホームページに掲載協力店舗募集。掲載方法について検討中。 ②市内医療機関の禁煙治療実施状況調査 市内禁煙治療実施医療機関一覧を作成。市のホームページで紹介。	①学童期歯科疾患対策モデル事業の実施に向けた取り組み 市内小学校においてモデル校を選定し、フッ化物洗口及び歯科健康教育を次年度より実施予定。 ②小学校でのフッ化物洗口事業の推進に向けた働きかけ 校長・教頭・養護教諭・PTA代表等学校関係者を対象に「小中学校保健会」で講習会開催。 ③「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防の取り組み 歯科医師会と医師会を対象にアンケート調査を実施。この結果をもとに、糖尿病重症化予防対策歯科連携システムを構築予定。 ④歯間部清掃具の普及啓発活動 薬剤師会を対象にアンケート調査を実施。この結果をもとに、次年度普及啓発活動実施予定。 ⑤妊婦への周知啓発活動 市内関係機関・産婦人科・協力店舗においてポスター掲示及びチラシを配布し、普及啓発活動実施。

◎ 部会推進の状況

	栄養食生活部会	身体活動運動部会	休養こころの健康部会	タバコ・アルコール部会	歯の健康部会
	「健康日本21こまき計画 健康こまき いきいきプラン」				
25年度	<p>①『望ましい体格を知るためのリーフレット』の配布と評価：小学5年生、中学1年生に配布。1か月後に、児童、生徒、担任へのアンケートを実施</p> <p>②20～30歳代の男性の欠食に対する意識向上のための啓発活動：食品衛生組合の講習会時、商工会議所主催の健康診断時に朝食摂取を勧めるチラシの配布</p> <p>③高齢者の低栄養に対する意識向上のための啓発活動：医師会、歯科医師会、薬剤師会を通じ、患者、利用者へ配布。</p> <p>④リーフレット配布やメジャーを利用した、BMIについての知識の普及啓発 産業フェスタ、農業祭で配布。家族単位での意識向上に活用。</p> <p>⑤食の環境整備を検討：会社の食堂、一般飲食店等でのヘルシーメニュー提供の検討。</p>	<p>①乳幼児親子に対して情報提供：各児童館発行の「児童館だより」へ年2回の記事(親子あそびによりカロリー消費について)を掲載</p> <p>②ウォーキングの普及啓発に向けて：ウォーキングマップの医療機関での配布、活用の依頼 児童館等での配布</p> <p>③ラジオ体操を覚える機会をつくる 体操連盟、スポーツ推進委員等の団体の現状を調査したり、企業での事例を聞いたり、どのような世代にどんな取り組みが効果的なのかを検討。</p> <p>市職員向け自主研修にて、「みんなの知らないラジオ体操のチカラ」を企画、開催した。</p>	<p>①うつ自殺予防啓発人材育成：保健連絡員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座」を2日間同一内容で実施。講師：24年と同じ(基金)</p> <p>職員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座・困った、窓口対応こんなときどうする？」講師：西野敏男臨床心理士(基金)</p> <p>②うつ・自殺予防啓発：「こころの相談窓口」パンフレット改訂版3000部作成(配布は26年度より)(基金)</p> <p>③うつ自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催 講師：関口純一精神科医(基金)</p> <p>(基金)：内閣府 自殺対策緊急強化基金</p>	<p>①「禁煙・分煙マップ」作成副流煙による健康被害を避けるため、禁煙状況や分煙マップを作成中。以前作成したものは、禁煙、分煙状況があいまいであるため、再度検討。市民意識調査の中でも、公共施設、飲食店の禁煙への意識は高まっておりことが分かった。</p> <p>②市ホームページの活用：喫煙、飲酒が健康に及ぼす影響についてホームページで、情報提供を行っている。タバコに関しては、喫煙、受動喫煙による害についての知名度はあがってきており、周囲に配慮した喫煙をする方も多くなっている。タバコは、年齢が高いほど禁煙に踏み切るのが難しい傾向もあり、若い世代への禁煙への取り組みを検討中。</p>	<p>①園児対象う蝕対策普及啓発活動事業の推進 関係機関及び近隣大学と連携し、事業実施に向け検討会開催。</p> <p>②学童期歯科疾患対策モデル事業の推進 市内モデル校において、フッ化物洗口及び意識調査を実施。平成26年度よりモデル授業を実施予定。</p> <p>③小学校でのフッ化物洗口事業の推進に向けた働きかけ 保健主事・養護教諭等学校関係者を対象に研修会を開催し意識の向上を図った。</p> <p>④「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防の取り組み 市内各医療機関に対し、糖尿病連携手帳を配布し、内科・歯科連携開始。</p> <p>⑤歯間部清掃具の普及啓発活動 薬剤師会と連携し、「イイ歯 スマイル キャンペーン」と題し、ポスター掲示及びチラシを配布し、来局者の意識の向上を図った。</p> <p>⑥妊婦への歯科健診啓発活動 市内関係機関・産婦人科・協力店舗においてポスター掲示及びチラシを配布し、普及啓発活動実施。協力店舗については昨年度より拡大して実施。</p>
	「第2次健康日本21 こまき計画 健康こまきいきいきプラン」策定				
	「産業フェスタ」の会場において、がん検診の啓発を実施(大腸がんのパネル展示、クイズ、がん検診申し込み)				
26年度	<p>①『望ましい体格を知るためのリーフレット』の配布と評価：小学5年生に、身体測定時など体格に関心ができる時期に合わせて配布。</p> <p>②20～40歳代の朝食欠食をなくす意識向上のための啓発活動：朝食啓発、肥満予防パンフレットを男女別のアプローチ内容で作成。27年度市内事業所等に向けての配布啓発を行いたく、配布先の検討。</p> <p>③高齢者の低栄養予防の意識向上のための啓発活動：医師会、歯科医師会、薬剤師会を通じ、対象者、その家族に対して配布。</p> <p>④食の環境整備を検討：会社の食堂、一般飲食店等でのヘルシーメニュー提供の検討。</p>	<p>①ウォーキングの普及啓発 医療機関にて運動の必要な方にウォーキングマップを配布。親子が利用する児童館にてウォーキングマップの配布。</p> <p>②青年期・壮年期へのアプローチについて 子育て世代の親へアプローチする方法を検討。(意識的に身体を動かすことの必要性を、標語やポスターで示すのはどうか。H27年度に作成する)</p> <p>③ラジオ体操を覚える機会をつくる ラジオ体操を定着させるための検討(ラジオ体操について情報発信する、講習会を実施する等)</p>	<p>①うつ自殺予防啓発人材育成：保健連絡員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座」を2日間同一内容で実施。講師：24年と同じ(基金)</p> <p>職員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座・苦手な人とも上手に付き合うコツ」講師：若月律子カウンセラー(基金)</p> <p>②うつ・自殺予防啓発：睡眠に関するしおり(カード)作成し薬剤師会を通じ患者さんへ配布予定(基金)</p> <p>(基金)：内閣府 自殺対策緊急強化基金</p>	<p>①ホームページの活用 喫煙・飲酒・受動喫煙が健康に及ぼす影響についてホームページにて情報の提供。</p> <p>②タバコアルコールについての認知度が低い項目へのチラシの検討 平成21年度にアンケートを実施し、22年に作成したタバコアルコールのチラシを乳がん健診、子宮がん検診、親子健康手帳配布時に配布している。作成から5年がたつため、見直し再検討していく。</p> <p>③禁煙・分煙マップの作成 副流煙による健康被害を避けるため、禁煙状況や分煙マップを作成中。</p>	<p>①園児対象う蝕対策普及啓発活動事業の推進 関係機関及び近隣大学と連携し、園児を対象とした普及啓発を実施。</p> <p>②保育士対象普及啓発活動 市内保育園・幼稚園の保育士を対象にフッ化物洗口をはじめとしたう蝕予防に関する研修会を開催。</p> <p>③小学校でのフッ化物洗口事業の推進に向けた働きかけ 保健主事・養護教諭等学校関係者を対象に研修会を開催し意識の向上を図った。</p> <p>④「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防の取り組み 市内各医療機関に対し、糖尿病連携手帳を配布。</p> <p>⑤職域対象歯周疾患対策普及啓発活動の実施 商工会議所主催の健康診断を活用し、意識調査及び歯間部清掃具の普及啓発実施。(H24～)</p> <p>⑥歯科医療関係者への意識調査実施 歯科関係者を対象に実施される健康診断を活用し、歯科を受診する糖尿病患者の実態調査を実施。</p> <p>⑦市民病院と連携した歯周疾患対策の実施：内科及び健診センターに歯周病予防に関するチラシを設置。</p>
27年度	<p>①『望ましい体格を知るためのリーフレット』の配布 9月上旬、市内小学校5年生および中学2年生に対してリーフレット配布。合わせて、学級担任の先生への要点をまとめた簡易マニュアルを作成。</p> <p>②青年期・壮年期に対する朝食啓発・肥満予防パンフレットの配布 保健センターの事業である35歳から39歳までのヤング健診の結果説明の際に活用。また、地域の健康展等に配布。</p> <p>③食の環境整備の検討 小牧市ヘルシーメニューとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー 700kcal ・塩分 3g以下とする ・野菜使用量 120g以上使用 ・産地地消 小牧産、愛知産、東海三県産とする。自家製含む。 ・10品目以上の食材を使用 <p>以上の項目の中で3項目を満たすものをヘルシーメニューとして認定することで検討。ヘルシーメニューに協力してくれる店舗のPR、ヘルシーメニューの種類、頻度について検討予定。</p>	<p>①身体活動・運動の効果についての情報提供 日常生活の中で意識的に体を動かすために、エスカレーターやエレベーターではなく、階段の利用を促すポスターについて検討、作成中。</p> <p>②安全に歩くためのウォーキング知識の普及 保健センターや地区の健康展等で配布。ウォーキングマップのみでは安全に歩くための知識が不十分ではないかとこのことで、チラシとの併用やウォーキングマップの内容について検討中。</p> <p>③転倒予防・筋力低下予防に関する知識の普及 ・ロコモティブシンドロームに関する情報提供のため、広報の特集で啓発してはどうか。掲載に向け、内容を検討中。</p>	<p>①うつ自殺予防啓発人材育成：保健連絡員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座」を2日間同一内容で実施。講師：24年と同じ(基金)</p> <p>市民対象「日常生活に役立つ話の聴き方講座」講師：上園幸子臨床心理士(基金)</p> <p>職員対象「感情をぶつけられた時の対応講座」講師：上園幸子臨床心理士(基金)</p> <p>②うつ・自殺予防啓発：平成26年に作成した睡眠に関するしおり(カード)作成し薬剤師会を通じ患者さんへ8月ごろ配布(基金)</p> <p>③うつ自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催 講師：愛知医科大学古井由美子臨床心理士(基金)</p> <p>(基金)：内閣府 自殺対策緊急強化基金</p>	<p>①禁煙したい人への情報提供 喫煙をしている方の中にも、できるなら禁煙したいと考えている方や、一度禁煙したが再度喫煙するようになった方もいる。そのため、禁煙をしたい方への情報提供として「何度でもチャレンジしよう禁煙(仮題)」について作成中。</p> <p>また、禁煙を始めた方が禁煙を継続できるようなサポートとして、禁煙カレンダー(仮称)を作成してはどうかと検討中。</p> <p>②ホームページの活用 喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響についてホームページを利用し、情報の提供をおこなっているため、掲載内容の検討をしている。</p> <p>③現在使用中の、タバコ・アルコールの資料の見直し、検討 喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響について認知度が低い情報をまとめたチラシをがん検診受診時、親子健康手帳交付時に配布中。タバコ、アルコールについての新たな情報の追加を行う予定。</p>	<p>①園児対象う蝕対策普及啓発活動事業の推進 関係機関及び近隣大学と連携し、園児を対象とした普及啓発を実施。</p> <p>②保育士対象普及啓発活動 市内保育園・幼稚園の保育士を対象にフッ化物洗口をはじめとしたう蝕予防に関する研修会を開催。</p> <p>③幼稚園でのフッ化物洗口実施施設拡大に向けた検討 市内幼稚園を対象に、フッ化物洗口をはじめとした園児のう蝕予防に関するアンケート調査を実施。これをもとに次年度、実施施設拡大に向けた具体的な取組み内容について検討予定。</p> <p>④小学校でのフッ化物洗口事業の推進に向けた働きかけ 学校保健会を活用し、保健主事・養護教諭、PTA代表等学校関係者を対象に研修会を開催し意識の向上を図った。</p> <p>⑤中学生対象とした歯科疾患予防に関する取組み 中学校で開催される保護者懇談会で歯科疾患予防に関するチラシの配布を実施。</p> <p>⑥職域対象歯周疾患対策普及啓発活動の実施 商工会議所主催の健康診断を活用し、意識調査及び歯間部清掃具の普及啓発実施。(H24～)</p> <p>⑦市民病院と連携した歯周疾患対策の実施 内科及び健診センターに歯周病予防に関するチラシを設置。</p> <p>⑧介護スタッフを対象とした働きかけ ヘルパーやケアマネージャー等介護スタッフを対象に研修会を開催し、意識の向上を図った。</p>

◎ 部会推進の状況

	栄養食生活部会	身体活動運動部会	休養こころの健康部会	タバコ・アルコール部会	歯の健康部会
28年度	<p>①「望ましい体格を知るためのリーフレット」の配布 市内小学校5年生を対象に、自分の体、健康を意識する機会(健康手帳を家庭へ返却する折等)に配布。</p> <p>② 青年期・壮年期に対する朝食啓発・肥満予防パンフレットの配布 学校給食試食会で、栄養教諭が保護者向けに朝食摂取の講話をする際に利用。保健センターの事業である35歳から39歳までのヤング健診の結果説明の際に活用。また、地域の健康展等にて配布。</p> <p>③ 食の環境整備の検討 認定基準を作成し、市内飲食店を対象に平成28年10月15日から11月15日までの間、第一期ヘルシーメニューの募集を行い、3メニューを認定した。認定基準(1食当たり)1.野菜使用量120g以上、2.エネルギー700kcal以下、3.塩分3.0g未満、4.使用食材10品目以上、定食形式。店内は禁煙又はメニュー提供の時間帯は禁煙。平成29年2月1日から3月31日まで提供。平成29年4月以降は継続確認をし、追加認定メニューとあわせ6か月単位で提供。ホームページ、広報こまき(2月1日号)、ポスター、チラシ等で周知。</p>	<p>①身体活動・運動の効果についての情報提供 日常生活の中で意識的に体を動かすために、エスカレーターやエレベーターではなく、階段の利用を促すポスターを作成。保健センターはじめ市役所等に掲示。</p> <p>②安全に歩くためのウォーキング知識の普及 保健センターや地区の健康展等で配布。ウォーキングマップのみでは安全に歩くための知識が不十分ではないかとのことで、チラシとの併用やウォーキングマップの内容について検討中。</p> <p>③転倒予防・筋力低下予防に関する知識の普及 ・保健連絡員学習会で「ロコモティブシンドロームの予防～実践編～」を開催。 ・「ロコモティブシンドローム」に関する情報提供のため、10月号の広報で特集記事を掲載。 ・9月から毎月15日号の広報に運動指導士による「ロコモ予防体操教室」というタイトルで予防についての記事を連載。</p>	<p>①うつ自殺予防啓発人材育成 :保健連絡員対象「うつ・自殺対策ゲートキーパー養成講座:話を聞くことの難しさ、話を聴くことの温かさ」を2日間同一内容で実施。講師:24年と同じ(基金) 市民対象「ありがとうは自分育ての魔法のことば」講師:元NHKアナウンサー村上信夫氏(基金) 職員対象「怒りのコントロールについて」講師:こころの相談室コスモス清水浩子相談員(基金)</p> <p>②うつ・自殺予防啓発 「こころの相談窓口」パンフレット第3版3000部作成:(基金)</p> <p>③うつ自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催 講師:犬山病院足立加奈子精神科医(基金):内閣府 自殺対策緊急強化基金</p>	<p>① 禁煙したい人への情報提供 禁煙をしたい方への情報提供として「何度でもチャレンジしよう禁煙NO1」を作成。 続いて、NO2も作成、検討中。</p> <p>② ホームページの活用 喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響についてホームページを利用し、情報の提供をおこなっている。次年度も引き続き掲載内容の検討をする。</p> <p>③現在使用中の、たばこ・アルコールの資料の見直し、検討 喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響について認知度が低い情報をまとめたチラシをがん検診受診時、親子健康手帳交付時に配布中。情報の見直し、検討を行う。次年度も継続していく。</p>	<p>①園児対象う蝕対策普及啓発活動事業の推進 関係機関及び近隣大学と連携し、園児対象啓発事業実施。その他、中学生職場体験参加者との交流事業の中で一緒に歯磨きを行い、習慣化へとつなげた。</p> <p>②保育士対象普及啓発活動 保育士を対象にフッ化物洗口をはじめとしたう蝕予防に関する研修会を開催。(保育士21名参加)</p> <p>③幼稚園でのフッ化物洗口実施施設拡大に向けた検討 幼稚園長会でフッ化物洗口に関する情報提供を行った。</p> <p>④園児及び通所施設利用高齢者対象啓発活動:保育園の施設訪問活動を活用し、歯磨きをツールとした交流活動を実施。(市内4保育園89名の年長児、5施設117名の利用者)</p> <p>⑤学校関係者への普及啓発:学校保健主事会を活用し、保健主事を対象に研修会を開催。意識の向上を図った。(23名参加)</p> <p>⑥中学生対象とした歯科疾患予防に関する取組み 中学校で開催される保護者懇談会で歯科疾患予防に関するチラシの配布を実施。(市内9中学校1,520名配布)</p> <p>⑦小学生対象歯磨き教室開催 市内モデル校3～6年生対象健康教育実施。また、市内希望校4年生を対象に歯磨き教室実施。</p> <p>⑧職域対象歯周疾患対策普及啓発活動の実施 商工会議所主催の健康診断を活用し、1,124名に対して意識調査及び歯間部清掃具の普及啓発実施。(H24～)</p> <p>⑨特定健診対象者への啓発 国保対象者へは案内通知に歯科に関する内容を盛り込んで周知。協会けんぽ被扶養者については特定健診時に個別指導実施。</p> <p>⑩働く世代対象歯周疾患対策実施 働く世代を対象に意識調査実施。次年度以降、具体的な取組みを予定。</p> <p>⑪糖尿病及び歯周病の重症化予防に向けた啓発実施 糖尿病連携手帳を活用した各関係機関の連携強化を図った。</p> <p>⑫市民病院と連携した歯周疾患対策の実施 内科及び健診センターに歯周病予防に関するチラシを設置。</p> <p>⑬歯間部清掃具普及啓発実施 獣医師、市役所環境対策課と連携し、ペットの飼い主の歯周疾患対策実施。</p> <p>⑭介護スタッフを対象とした働きかけ ヘルパーやケアマネージャー等介護スタッフを対象に研修会を開催し、意識の向上を図った。(50名参加)</p>